



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

## 欧州の一部で 1 月の最高気温を更新

### 雪不足や水の使用制限も



新年を迎えた欧州各国で、1 月の観測史上最高気温が観測されている。8 カ国では国内の観測史上最高を記録したほか、3 カ国で地域の観測記録を更新した。国内の観測史上最高を更新したのは、オランダ、リヒテンシュタイン、リトアニア、ラトヴィア、チェコ共和国、ポーランド、デンマーク、ベラルーシ。ポーランド・ワルシャワでは 1 日に摂氏 18.9 度を記録し、1 月の最高気温を 4 度更新した。スペイン・ビルバオでは、平均より 10 度以上高い 25.1 度を記録した。これは 7 月の平均気温と同程度で、バルセロナなどカタルーニャ地方の一部で水の使用が制限されている。

イギリス、アイルランド、フランス、スペインは数日前に、2022 年が観測史上最も暑い年だったと宣言したばかりだった。イギリスでは昨年、12 月を除くすべての月が平均気温より暑かった。国内の大部分で雪が降った 12 月から一転して、現在は気温が上昇し、雨が降っている。

人為的な気候変動の影響で、熱波は以前より頻繁かつ激しくなり、期間も長くなっている。

現在の地球の温度はすでに産業革命以前のレベルから 1.1 度、上昇している。世界各国の政府が炭素排出量を大幅に削減しない限り、気温は上昇し続ける。

BBC NEWS JAPAN より



バレンシアのマルバロッサビーチでバレーボールを楽しむ人々



ポーランド・シュチェチンでは桜の開花が早まった。

あけましておめでとうございます。この冬は欧州において非常に厳しい冬となっているようです。これは決して他人事ではないことがニュース記事の最後で分かります。CO<sub>2</sub>の排出量は 1970 年代から約 40 年間で 2 倍以上増加しているというデータがあります。気温上昇や気候変動を食い止めるために炭素排出量を減らす取り組みが必要ですが、実は個人的に炭素排出量を減らすために出来ることはたくさんあります。特に、シンガポールではエアコンの使用頻度が高いので、1 度上げてみるだけで炭素排出削減に相当貢献することが出来ます。また、その他で電気をなるべく使わないようにしたり、レジ袋を避けるだけでも変わります。地球のために出来ることを少しでもしたいですね。

(生井)